

継続こそ力、ただかっこそ要求は前進することを確信 要求実現し、仲間を増やし強い組合づくりを！

建交労広島県本部が第25回定期大会を開催



上から小林豊数委員長、労職支部の池田代議員、興国産業支部の門田代議員が発言している。広島市内

建交労広島県本部は一〇月七日(土)広島市内で第二五回定期大会を開催しました。参加者を絞り時間短縮など感染防止対策をして開催、大会には執行部と代議員、傍聴者あわせて二五人が参加しました。

小林豊数委員長は、五月に広島で開催された「G7サミット」に言及し、政府の核兵器の抑止力を肯定する姿勢が明らかになるなど「被爆者のサロ節子さんも『広島サミットは失敗だった』というほどだった」と厳しく批判するとともに岸田政権の進める軍事費拡大・増税路線を強く批判しました。また県本部としては「興国産業支部」の組合結成に象徴されるようにこの一年で組合員を増やしてきたことを強調しました。

組合員を増やし大会開催

武田喜成書記次長より建交労中央本部からのメッセージが読み上げられ、山田昭夫書記長が経過報告、秋季年末闘争と二〇二四年春闘の準備、会計報告を行い、新年度の予算案の提案等をおこないました。

興国産業支部が今後の闘いの支援を訴え

討論では、労職支部、興国産業支部、ダンブ支部、鉄道支部、三原支部などから八人が積極的に発言、興国産業支部の門田久弘委員長は、組合を結成し建交労に加盟したことを報告するとともに、社長のパワハラのことや労働条件が切り下げられたことなど報告し、大会参加の仲間に関後の要求闘争のたたかへの支援を訴えました。(左下へ)

クスノキ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
〒七三〇〇八五三
広島市中区堺町一丁目二九三〇三
TEL (〇八二) 二三五―三〇五〇
FAX (〇八二) 二三五―三〇五二
e-mail
ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp



伊東香織会長(左側)に「要請書」を手交する山室まこと議長(10月19日・岡山市)

中国市長会会長に要請

建交労中国地方協議会は、一〇月一九日岡山市内で開催された中国市長会(会長は伊東香織倉敷市長)に要請を行いました。

中国地協の山室まこと議長(島根県本部委員長)はじめ四人が参加、「働かなければ生活できない高齢者・生活困窮者の雇用問題やダンプの白ナンバー問題への理解を広げてもらうことや政府に核兵器禁止条約に参加を要請すること」を中心に要請しました。

伊東市長は、「参加者全員に要請書を見てもらいます、政府への要請は皆さん方からも要請をお願いします」と回答しました。

大会では、新年度の執行部体制を選出しました。

新たに興国産業支部の門田久弘氏が執行委員に選出されました。広島労職支部の田頭広氏は、退任されました。お疲れ様でした。

徒然草

一〇月二〇日に臨時国会が始まった。岸田首相は二年目が経過したが、何をやるうとしていなのか。最初はメモ帳を掲げて「聞く力」をアピールしていたことは記憶に新しいが、本人はどう思っているのか。地元中国新聞のインタビューで「核なき世界はライフワーク」と言っている。昨年末「安保三文書」を改定し、「敵基地攻撃能力の保有」を宣言、これまでの「専守防衛」から大きく方針転換したにもかかわらず「これまでの政策と変わらない」と豪語するに至っては驚くばかり。◆先日もテレビで、岸田首相が補佐官と一緒に都内のスーパーを視察し、「確かに価格が上がっている」と言ったそうだが、どういう気持ちで視察したのかと思ってしまう。早い話が「やっつている感」を演出しているだけではないのか。多くの国民がすでに二年前から物価が上昇し続けていることを知っているのにである。◆岸田首相は「今月中にまとめる経済対策の中で、皆さんの思いを反映できるように対策を盛り込む努力をしたい」と語っている。しかし、物価高騰対策ですぐやれることは、不公平で逆進性の強い「消費税」の税率を下げることはないか。すでに105の世界の国と地域では、消費税や付加価値税の減税を実施しているのである。「やっついているふり」はもう結構である。(M)

会社は運転手の賃金底上げをせよ!

興国産業支部が全員参加で4回目の団体交渉

建交労興国産業支部は、一〇月二一日(土)の午後、4回目の団体交渉を行いました。六月一七日の団体交渉以来の交渉には門田委員長はじめ組合員一二人と福山地区労会議の中藤議長、県本部からは小林委員長はじめ三人が参加しました。

交渉では、「団体交渉申し入れ書」に基づき、①団体交渉ルールに関する協定書について、②四月からの運行回数の減り方の理由を求める、

③他の運行形態での運行はできないのか、④パワハラの言動の變化が見られない、など八項目について社長に回答を求めました。

「交渉のルール」については、会社が押印して出してきたにもかかわらず「まだ確認されていない」と会社側の本田弁護士が横やりを入れるなどで次回に確認することとなりました。運行回数が減り賃金が大きくダウンした問題の改善についても追及しましたが、時間切れとなり、早急に次回交渉を予定することとなりました。

ヤマト運輸は一方的なリストをやめろ!

中国地方のクロネコメイト(労働者)と連絡としました

ヤマト運輸の「クロネコDM(ダイレクトメール)便」の仕分けを行うパート社員が、去る10月13日に結成した建交労軽貨物ユニオン・ヤマト運輸茨城班は、16日のヤマト本社との団体交渉で、会社側から、「(来年1月末の解雇・退職強要について)「整理解雇ではない」(退職は)「お願いベースのもの」と回答を得、組合員は配られた「雇用終了」の内容を示す通知書を撤回し、説明しなおすよう求めています。このことは「クロネコメイト」と呼ばれる個人事業主(請負労働者)からも注目されています。中国地方のある県のクロネコメイトの労働者からも、建交労軽貨物ユニオン事務所(横浜市)に問い合わせがあり、広島県本部はその労働者に資料も送り、状況を聞きました。Aさんは次のように話しています。

私は13年前にはじめました。私を含めて10人バイク便で働いています。(解雇の話は)ひどい話です。署名もしたいので送ってください。必要な時は出向いていきますので、情報お願いします。

大変力強いです。

労働局、広島県庁にじん肺・石綿被害

根絶対策の強化を強く求め要請行動

第34回じん肺キャラバン行動広島



トンネルじん肺・石綿被害の根絶を求めて、広島県庁に要請、いの健センター、労働相談センターからも参加してくれました。(10月18日)

一〇月一八日の午前中、「第34回じん肺キャラバン行動広島」が取り組まれ、広島労働局と広島県庁の担当課に要請懇談を行いました。とくに石綿を吸い込むことによる中皮腫などの死亡者は増え続けており、石綿を使用した建物の解体時期がピークを迎えるにあたり被害の防止対策の強化とトンネルじん肺の根絶を求めて、労働時間の管理・監督のさらなる徹底を強く求めました。



ゲーム開始前に整列した、ボーリング交流会参加者(10月22日呉市)

楽しく汗を流しました

第2回ボーリング交流会に

一六人が参加しました

今後の組合行動日程など

- 一〇・二六 建交労中央執行委員会(二七日)
- 一〇・二八 ダンプ支部合同役員会
- 一〇・三一 労職支部執行委員会
(三原中央公民館)
- 一一・二 広島県労連幹事会
- 一一・三 国民大運動県民集会(平和公園噴水前)〜デモ行進
- 総がかり行動集会(原爆ドーム前)
- 一一・九 ゼネコン本社要請行動
- 一一・一〇 建交労中央行動
- 一一・二一 「黒い雨」第二次訴訟
- 一一・二四 島根県本部定期大会
- 一一・二五 建交労春闘討論集会(二六日)
- 一一・二六 全国トラック部会総会
- 一一・二五 争議解決集会とデモ行進
- 一一・二五 県教委「官製談合」住民裁判
- 一一・八 広島県二〇二四年春闘共闘結成総会
(広島ロードビル)



一〇月の花

※県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場でのホットな話題や取り組みなど、身近な話題を、ファクスや、「メール」でお寄せください。メールとファクスは以下の通りです。

ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp
Fax 〇八二一一三三五一三〇五二